

生成AIが「若年層」労働市場に及ぼす影響。 「AI依存の『副作用』」とは？

進路室長 橋野 幸男

生成AIは、2022年11月にOpenAIがChatGPTを公開して以来、導入のしやすさと適用範囲の広さで、急速に社会に浸透してきました。その生成AIは労働市場、特に皆さんのような若年層の市場にどのような影響を及ぼすのでしょうか。次に掲げる論考は興味深いものです。

株式会社日本総合研究所 調査部・主任研究員 福田直之

『生成AIと日本の雇用 ―若年層の技能形成をどう確保するか―』

[2026/03/13]

以下、要約して紹介します。

- ① ChatGPTに代表される生成AIは、文書の下書き、データの整理、定型対応といった仕事を人間の代わりにこなせる。こうした仕事はこれまで、社会に出たばかりの若年層が仕事の基本を覚える「エントリー業務」だった。アメリカではいま、生成AI導入の影響でエントリー業務に就く若年層の雇用が目に見えて減っている。
- ② 一方、わが国では、少子高齢化による人手不足や、メンバーシップ型雇用（人を先に採用し仕事を後から割り当てる、長期雇用中心の日本型雇用システム）、新卒者一括採用といった雇用慣行がクッションになっており、アメリカのように若年層の失業が急増するような事態は起きにくい。
- ③ わが国で心配されるのは、「雇用の数が減ることではなく、若年層が仕事の技能を形成できないまま年を重ねてしまう」問題である。わが国のメンバーシップ型雇用では、まず簡単な仕事から始めて、OJTで成長し、少しずつ重要な仕事を任せられるというプロセスで人材育成を進めてきた（エントリー業務→OJT→配置転換）。この出発点を生成AIが担ってしまうと、育成の仕組みが内側から崩壊する恐れがある。職場での実地訓練であるOJTを通じてじわじわと身につくはずの技能が形成できないまま時が過ぎる懸念があり、「就職はできたけれど、仕事を学べなかった世代」が生まれかねない。
- ④ 問題が顕在化するのには、生成AIの普及期に入社した世代が事業の判断を担う中堅層となる5～10年後。手遅れを防ぐため、企業・政府とも今から対策を打つ必要がある。

メンバーシップ型雇用の下、新卒者を一括採用した後、入社1～3年目にエントリー業務を担わせるのは、生産性をすぐに最大化するためではなく、業務の構造を実体験として覚えさせ、組織の「暗黙知」（個人の経験や勘に基づく、簡単に言語化できない知識のこと）をたたき込むための設計です。このプロセスで形成される「組織の共通言語」、例えば文書の作法、情報の読み方、例外対応のパターンこそが、その後の生産性向上や昇進を可能にする基盤になります。

しかし、生成AIがこのエントリー業務を代替すると、従来の人材育成の入口が形骸化することになります。生成AIは「正解を出す」ことは得意ですが、「なぜそれが正解なのか、どのような背景や文脈のもとでその判断が妥当なのか」を一つひとつ説明する

機能は持っていません。若年層が生成AIの出力をそのまま上司に提出し承認を得ることが常態化すれば、本人は技能の形成を経験しないまま「成果」だけを積み上げることになり、結果として判断や例外対応といった力が育たず、「見かけ上の習熟」が進むという「育成設計上の歪み」が生じてしまうのです（『日本経済新聞』2026/5/18の記事『AI、弁護士に変革迫る』では、AIが業務改革を迫っているという内容とともに、「下積み機会減」の小見出しでこの問題を取り上げています）。

実はこの現象は、教育の現場でも起きています。生成AIを活用したレポートや卒業論文の作成が広がっており、表面的には整った文章や回答が短時間で得られる一方で、「見かけ上の習熟」が理解の定着や思考プロセスを弱め、知的基盤の空洞化をもたらす懸念がある、という問題です。

「生成AI活用による新人の生産性向上」の一方で、こうした「AI依存の『副作用』」ともいべき問題があることに、これから「人的資本」を形成していく皆さん自身も、ぜひ留意してください。

後援会総会における学校からのお話

副校長 有賀 浩

新入学生は御殿場宿泊研修を通じ、本学の学生としての心構えや自己のキャリアデザインについて学び、仲間との絆を深めた。今後の学生生活では「利他の心」を持ち、感謝と気遣いのできる各界のプロを目指していく。ご家庭でも、日々の対話を通じた前向きなサポートと、本学教育の根幹である「挨拶」の励行をお願いしたい。

卒業年次の学生にとっては、社会に出る前の総仕上げの時期である。自ら課題を探究し、強みを伸ばし、希少性の高い人材を目指す。電子情報分野では就職活動が、福祉分野では現場実習が本格化する。悩みや疲労が見られる時期でもあるため、ご家庭での見守りと励ましをお願いしたい。懸念事項があれば遠慮なく担任へ相談してほしい。

また、3年前に後援会からの強い要望により再開した海外への研修修学旅行について、今年度も国際的視野と豊かな人間性を育むために第一希望台湾、第二希望韓国で実施を計画している。実施に向け、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いする。

令和8年度 学生会 会長・副会長 あいさつ

【会長】総合福祉学科3年 望月 咲来

この度、学生会長を務めさせていただくことになりました、総合福祉学科3年の望月咲来です。

昨年度は副会長として活動する中で、多くの仲間や先生方に支えていただきながら、学生会として学校行事に携わってきました。その経験を通して、学生一人ひとりの声を形にし、みんなで学校をより良くしていくことの大切さを強く感じました。



今年度はその経験を活かし、昨年以上に皆さんの意見を大切にしながら、学科や学年を越えて交流できる、笑顔あふれる学校づくりに努めてまいります。行事を通して「参加してよかった」と思える瞬間を増やし、全員で思い出に残る学校生活をつくっていききたいです。まだまだ未熟ではありますが、副会長や学生会メンバーと協力し、責任を持って精一杯頑張ります。

1年間、よろしくお願いいたします。

【副会長】音響&映像メディアクリエイト学科2年 天野 沙弥

この度、学生会副会長を務めさせていただくことになりました、音響&映像メディアクリエイト学科2年の天野沙弥です。

副会長という大きな役割を任せただけのことを、大変嬉しく思います。私は1年次からCANスカラシップに挑戦し、いくつかのボランティア活動を経験させていただきました。

今年度は、昨年度の経験を活かし、学生会の仲間や先生方と協力し、学生の皆さんの声にしっかり耳を傾けながら、よりよい学校づくりを目指していきたいと考えています。

副会長として会長を支え、学生の皆さんがより楽しく学校生活を送れるよう努めてまいります。1年間よろしくお願いいたします。

【副会長】視能訓練士学科2年 杉野 瑠菜

この度、副会長を務めさせていただくことになりました、2年視能訓練士学科の杉野瑠菜です。

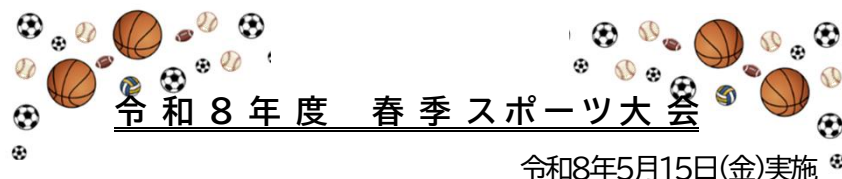
私が副会長という大きな役職を務めることができるのかという不安もありますが、貴重な経験をさせていただけることを嬉しく感じています。期待に応えることができるよう、責任を持って活動していきたいと思っています。

学生の皆さんが楽しく、充実した学校生活を過ごせるよう、学生会活動に取り組んでいきたいです。また、学科や学年に関係なく、全員が楽しめる行事作りをしていきたいと思っています。

副会長として未熟な点も多くあると思いますが、会長を支えながら、副会長としての役目を果たせるよう全力で務めていきます。1年間よろしくお願いいたします。

1年間よろしくお願いいたします！





「学生主体の力を学んだスポーツ大会」

総合福祉学科1年 山本 風

私は、学生生活で初めてのスポーツ大会にスポーツ大会実行委員として参加しました。

実行委員の友達や先輩方と協力して、トーナメント表の作成から当日のグラウンドでの準備まで取り組みました。さらに、クラスの仲間とスポーツを通して交流を深め、仲間意識をより強く感じることができました。大会を運営する中で、私はスポーツ大会に対して大きなやりがいを感じました。それ以上に、学校全体をまとめ、積極的に運営を引っ張っていた先輩方の姿に強く感動し、「私もあのように学校行事を盛り上げられる存在になりたい」と思うようになりました。

学生主体で行事を作り上げていく姿勢と行動力は、今後の私の目標の一つです。

また、大会当日はクラスの仲間と声を掛け合い、応援し合う中で、クラスの団結力が深まり、かけがえのない思い出になりました。

次回、秋に予定されているスポーツ大会では、今回の経験を活かし、さらに積極的に準備や運営に関わっていきたいと思います。そして、みんなで協力しながら、楽しめるイベントをつくり、「仲間の和」、「絆」を深めていけるよう努力したいです。

「仲間と協力したスポーツ大会」

IT ゲーム&ロボットシステム学科1年 阿部 凌也

先日、草薙総合運動場のサブトラックでスポーツ大会が行われました。私は綱引き、借り物競争、リレーの三種目に参加しました。綱引きではトーナメント方式で試合が行われ、一回戦で負けてしまい悔しい気持ちもありましたが、順位決定戦では一勝することができ、とても嬉しかったです。借り物競争では、お題に合う先生をなかなか見つけることができず、結果はビリになってしまいました。しかし、周りの人たちと笑い合いながら参加できたので、楽しい思い出になりました。リレーでは三走を担当し、自分なりに思うような走りのできたので満足しています。

今回のスポーツ大会を通して、クラスの仲間と協力する大切さや、みんなで体を動かす楽しさを改めて感じる事ができました。今後の学校生活でも、この経験を活かして仲間との交流を深めていきたいです。



新任教職員あいさつ

視能訓練士学科 柚木仁美

令和8年4月1日付けで入職致しました、視能訓練士学科の柚木仁美と申します。

前職では、地元である富士市の個人眼科にて、視能訓練士として17年間勤務しておりました。

赤ちゃんからご高齢の方まで幅広い年代の患者様の検査に関わり、市内の3歳児健診にも携わってまいりました。視能訓練士として、ただ検査を行うだけではなく、患者様に寄り添い、一人ひとりに合った関わり方や説明を行うことを大切にし、「この人に検査をしてもらって良かった」と思っていただけよう心掛けてまいりました。

これまで多くの患者様やスタッフと関わってきた経験を活かし、学生の皆さんとのコミュニケーションを大切にしながら、現場に必要な知識や対応力を身につけられるようサポートしていきたいと考えております。教員としてはまだまだ不慣れな点も多いですが、私自身も皆さんと共に学び、成長しながら精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。

子ども心理学科 鈴木香理

令和8年4月1日付けで入職致しました、子ども心理学科の鈴木香理と申します。

入職以前は、こども園や子育て支援センターで保育士として勤務をしていました。現在は講義と共に、週2回の半日をキッズハウスひかりで勤務しています。

保育士という職業は、たくさん子どもや保護者と心を通わせ、多くの笑顔と喜びをもらえる素敵な職業であると同時に、重い責任も担います。実際の現場の話や現代の子どもをとりまく環境など、学生に保育の世界を幅広く伝えていきたいと思っています。

入職してまだ数カ月ですが、学生からたくさん笑顔や学びをもらい、一緒に成長させてもらっています。学生たちがこれからの社会で輝いていけるよう努めていきたいと思っています。

広報室より

令和9年度学生募集

A0入学選考エントリー6月1日(月)開始!!

企画広報室 小林 昌人

6月になりました。今年は暑くなるのも早いので、梅雨の時期のジメジメと暑さにやられないように体調管理をしっかりして過ごしましょう。

さて、6月1日からはAO入学選考エントリー受付が始まりました。毎月開催しているオープンキャンパスへ高校生が数多く参加してきています。近年では高校3年生だけでなく、高校1、2年生も早い段階からオープンキャンパスに参加してくれています。皆さんの周りで本学の分野を目指す後輩やご家族がいれば、ぜひ参加を勧めてあげてください。

そしてオープンキャンパスに協力していただける在校生の皆さんは、参加する高校生に優しく声掛けして、色々とアドバイスをしてあげてください。

7、8月には夏休みスペシャルオープンキャンパスも開催されます。皆さんが入学前に考えていたことを思い出して、高校生が知りたい内容を教えてあげてください。同じ目標を持って学ぶ仲間を増やし、ますます学校を盛り上げていきましょう!

◇AO入学選考エントリー開始!!

・6月1日(月)～10月9日(金)15時まで

◇オープンキャンパス

～目指す仕事を体験から見つけよう!!～

・6月13日(土)13:15～15:30

・6月25日(木)17:00～18:45

・7月4日(土)13:15～15:30



6月の行事

- 1日(月) AO入学選考エントリー開始
- 3CP教育実習 ～6/26
- 4日(木) 3CO面接指導
- 5日(金) 第1回法人役員会
- 8日(月) 2CP保育実習(保育所) ～6/23
- 11日(木) 3TW・2CW面接指導
- J検・B検CBT
- 13日(土) オープンキャンパス13:15～
- 15日(月) 2TW・CW第3期実習 ～7/18
- 3CO臨地実習I期 ～7/18
- 25日(木) オープンキャンパス 17:00～
- 27日(土) 床面定期清掃